

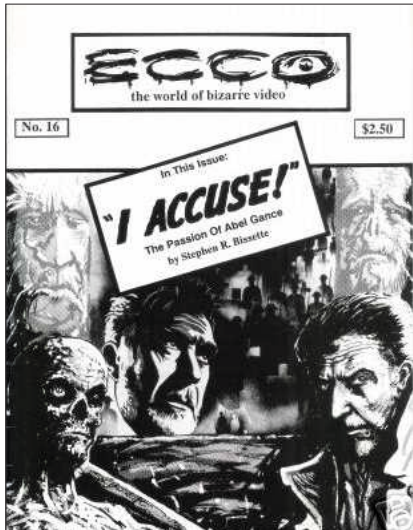


Gualtiero Jacopetti (born September 4, 1919) is an Italian director of documentary films. He was born in Barga, in northern Tuscany. He and his partner Franco Proserpi are the originators of "Mondo films", also called "shockumentaries".

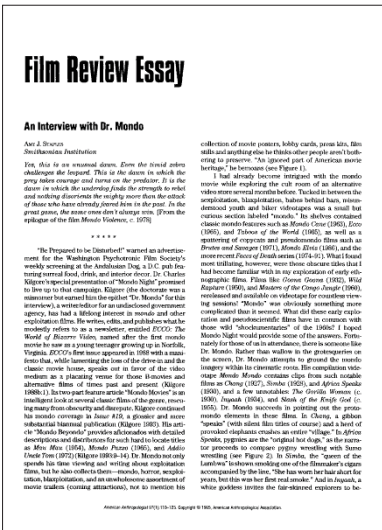
- * Mondo Cane, 1962
- * La donna nel mondo 1963
- * Mondo Cane 2, 1963
- * Africa Addio 1966
- * Addio zio Tom (Goodbye Uncle Tom), 1971
- * Mondo candido, 1975



「世界残酷物語」Mondo Cane
監督・脚本・制作：ガエルティエロ・ヤコペッティ
音楽：リズ・オルトラニー
イタリア 1962年 108分 カラー
「これを見たあと一週間はこれが、あなたの話題になってしまいうちがいない。なにが残酷であるかが、いろいろとわかる皮肉。見た目のこわさ。心にチクリと突き刺す皮肉のこわさ。よく集めたものである。一本のドラマを見る以上の劇的なスリルでいっぱいである」(淀川長治)



Charles Kilgore
ECCO: The world of bizzare video Vol.16



Review: An Interview with Dr. Mondo
Author(s) of Review: Amy J. Staples, Charles Kilgore
American Anthropologist, Vol. 97(1) pp.110-125

A・ステイプルス **モンド映画は「民族誌映画」に対するアンチ・テーゼですね。**
それは、ものごとの全体像や文脈、そして信憑性というものに無頓着で、ものごとをズタズタに断片化し、シーンをすつとばし、文脈をメチャクチャにして、さらには、ごまかしやインチキで作品をでっちあげるものです。

チャールズ・キルゴア つまり「雑種の映画(hybrid film)」ですね。

「ブレスの反応は、時として敵対的なものでしたが、ヤコペッティたちの映画は、その観客たちに、**彼らが持つ偏見や道徳観を問いなおさせることに見事に成功しました。**その最大の特徴は「**ジャクスタポジション＝併置化**」にあって、そのカルチャー・ショック療法は、私たちがもっていた「未開とモダン」「聖なるものと俗なもの」「人間と動物」「男と女」「宗教と科学」「空想と現実」などのあいだに横たわっている垣根についての考え方や知識をすっかりぶち壊してくれました。未開の儀式と文明の儀式などという区別は間違いであって、私たちは自分たちが暮らしている社会や、ビジネスマンたちのツアー旅行、モダンな芸術家、ダイエット教室などにこそ、本当に未開なるものがあるのだと、真剣にそう思いはじめようになりました。(...)」モンド映画は、それを見る側の身にもふりかかってきて、誰ひとり安全な場所にいることなどできないのです。「旅行の語り(トラベローグ)」ではなく、モンド映画は、あなたが異文化を観察するのと同じように、あなた自身の文化についても語らずにはおかないのです。」(A・ステイプルス「ドクター・モンド氏との会見」『アメリカン・アンソロポジスト』(1995年)より)



「私の映画のナレーションは、まさに私自身だといってよい。さいわい私には、ユーモアのセンスというものがあるからこそ、ふつうなら到底耐えられないようなシーン、最悪だといわれるような場面でも受け入れることができるのだと思う。世の中のこと、それがいかに最悪な出来事であれ、最悪なりの理由があり、それは受け入れなくてはならない。そもそも我々の主観的な判断がいつも正しいとは限らず、なにが最悪でなにが最善だと、決めてかかるのは真実の勝手な歪曲だといえる。私のナレーションは、よくニニカルだといわれるが、私にいわせれば、あれは皮肉ではなく、アンチ・レトリックだ。決まり文句や紋切り型の文章は大嫌いだ。常識もまた然り。人からつこまれるのを恐れて、とりあえず世間的に正しいとされていることを言うておくことに、一体どんな意味があるのか?」(グアンティエロ・ヤコペッティ「ヤコペッティ監督インタビュー」『映画秘宝』(2002年)より)

元祖 You Tube 人類学
Broadcast Yourself™



「驚異と衝撃の全41残酷シーン(DVD解説より)」
●保健所で死を待つ野良犬たち！ 一匹が処刑場へと引きずられていくタイトルバック！
●ルドルフ・バレンチノ追悼！ 出身地の村は全員親戚！ そつりさんだらけ！ ●バレンチノの後継者ミスター・マッスル！ モテモテすぎてもう大変！ ●地上の楽園キリウィーナ島のボーイ・ハンティング！ 逃げる男を発情した女どもが追う！ ●避暑地といったらコート・ダジュール！ モーターボートの巨乳美女に欲情する水兵さん！ ●豚の子供を母乳で育てるニューギニアのチンブー族！ 子供と豚の価値は同じ！ ●チンブー族つづき！ 5年に一度の大宴会！ 豚数百頭を一気に撲殺！ 残りの4年は飢えて暮らす！
●アメリカの愛犬家！ 死んだワンちゃんには立派なお墓を建立！ ●衝撃！ 台北の犬料理店！ 食ってる横に犬の檻！ まるでイクス！ ●復活祭用に生きたたま彦染色されるヒョコ！ 色とりどりのフカフカがビヨビヨ！ ●ストラスプールのフォアグラ作り！ ガチョウの喉にエサを無理矢理流し込む！ ●牛にはビールを飲ませろ！ そして全身マッサージ！ 松坂牛はこうして作られる！ ●ビスマル諸島の絶倫酋長！ めったかみさん15人！ 美人の基準はデブかどうかだ！ ●ロサンゼルスのだいエット・ジム！ デブのおばさん大奮闘！ ●香港はゲテモノ料理の宝庫！ワニ、カエル、ヘビ、トカゲ！ 何でも食っちゃうぞ！ ●ニューヨークの奇特定の金持ち！ 究極のグルメはゴキブリ料理！ ●シンガポールの肉屋！ 店頭で生きたヘビをさばいてお持ち帰り！ ●イタリアのヘビ祭り！ 老若男女がヘビを持って行進！ ●またまたイタリアの奇祭！ ガラスで足をずたずたに切り裂くキリスト教の異端！ ●オーストラリアの女ライブセーバー訓練！ 美女が人工呼吸！ ヘッピー腰で人命救助！ ●ビキニ環礁の環境破壊！ 海に浮かぶ蝶の死骸！ 穴に住む鳥！ 木に登る魚たち！ ●原爆実験の影響で方向感覚を失ったウミガメの産卵！ 海に戻れないで野垂れ死に！ ●マレーシアの海底墓地！ 海の底にはしゃれこうべがゴロゴロ！ ●サメ漁で生計を立てるライブート村！ サメにかじられ手足が奇数！ ●ライブート村つづき！こうなったらサメに意趣返しだ！ 口にウニを押し込んで復讐！ ●ローマのカプチン派修道会のカタコンベ！内部はガイコツだらけ！ ●ティベリナ島のカタコンベ！やっぱガイコツだらけ！ 週に一度はガイコツ磨き！ ●狂乱！ 痴態！ 千鳥足！ ハンブルグの酔っぱらいたち！ 昼になっても飲み続ける！ ●東京温泉は男のパラダイス！ 半裸の女性が優しくサービス！ 日本人はお風呂大好き！ ●中国の死化粧！ マカオの葬式！ シンガポールの葬式！ 豪勢な料理で大パーティ！ ●アメリカは車社会！ 廃車処理工場はアッという間に車がスクラップに！ ●と思ったらスクラップの車はバリバリ現代美術！ 車をありがたがるバカな客！ ●現代美術家イブ・クラインの女拓パフォーマン！ 全裸美女が全身IKB色に染まる！ ●お金をためてハワイへ行こう！ 引退老人ばかりの観光ツアー！ フラダンスでお出迎え！ ●ネパールのグルカ族兵士の女装まつり！ 勇敢な兵隊さんがオカマに！ ●グルカ族つづき！ 生きた牛の首を蜜刀でぶった切る！ 吹き出す血糊！ ●ポルトガルの牛追い祭りフォルターダ！ 町の中を猛り狂った牛が大暴走！ ●闘牛場の若き貴族たち！ 突進する牛から逃げちゃだめ！ たちまち大ケガ！ ●ニューギニアの穴居人！ 金属を知らない最後の野蛮人！ 人間か類人猿か！ ●改宗した原住民！ 顔面ピアスだらけでも教会でお祈り！信仰深い酋長！ ●ヒコキ様は先祖の使い！ 驚きのカーゴ・カル！

